

◎ 学年目標

向上・感謝・信頼 - 考えを深め、生徒たちが創る学年 -

- (1) 自ら考え、行動し、さらに考えを深めていくことができる生徒の育成。
- (2) 自他ともに大切にし、互いを尊重し合いながら信頼し合える集団の育成。

◎ 学年方針

- (1) 基本的な生活習慣を身に付け、規律を守り、けじめのある生活を送る生徒・集団を育成する。
- (2) 集団の一員として、自己の役割を理解し、自ら率先して活動する生徒・集団を育成する。
- (3) 相手を思いやり、礼儀と感謝の心を持ち、互いを尊重できる生徒・集団を育成する。
- (4) 授業に真剣に取り組み、自ら学ぶ意欲をもつ生徒・集団を育成する。
- (5) 何事にも積極的に取り組み、自己の力を伸ばそうとする生徒・集団を育成する。
- (6) キャリア教育の充実を図り、将来や生き方について考えを深める生徒・集団を育成する。

◎ 目標を達成するための具体的な内容

- (1) 基本的な生活習慣と規範意識の定着
 - ①先を見通し、時間を意識した行動やチャイム前着席、生活ルールの指導を徹底する。
 - ②場に応じた服装や態度、言動を自ら考えさせる指導を行う。
- (2) 役割意識と主体的な集団参加の促進
 - ①班活動や清掃活動、係活動や委員会活動等、日常的な活動に責任をもって取り組ませる。
 - ②行事を単なる団結の場と捉えるのではなく、日常で培った力を発揮・伸長する場として位置付け、その意識を持たせる。
- (3) 思いやり・礼儀・感謝を基盤とした人間関係の形成
 - ①挨拶や感謝の意味に気づかせ、教員が率先して実践し、指導を徹底する。
 - ②生徒が多様な価値観を知り、互いを認め合い、信頼し、安心して自己表現できる環境を作る。
- (4) 学習への主体的・継続的な取組の充実
 - ①チャイム前準備・着席の徹底と、授業規律を徹底し、学習に主体的に向かう環境を整える。
 - ②学習の基礎・基本の徹底ならびに様々な活動において「学ぶ」ことの大切さを認識させる。
- (5) 挑戦と成長を促す機会の設定
 - ①班長や学級代表委員だけでなく、様々な場面で活躍できる場を設定し、常にリーダーとフォロワーの望ましい関係の構築を図り、生徒の自浄能力・自治的能力を高める。
 - ②活動の成果と課題に目を向けさせ、達成感と充実感を体得させ、更なる成長を促す。
- (6) キャリア教育の充実と自己理解の深化
 - ①職場体験や進路学習を通して、自己理解や自立に向けた生き方を深めさせる。
 - ②総合的な学習の時間では、自ら設定した課題に取り組み、解決していく力を養う。

◎ 学年行事

- 保護者会（全3回） ○学校公開（全4回 道徳公開講座含む） ○三者面談（全2回）
 ○陸上競技大会（6月6日） ○校外学習（6月16日） ○職場体験（9月30日～10月2日）
 ○合唱コンクール（10月24日） ○学習発表会（3月6日） ○球技大会（3学期）

◎ その他

- 朝読書（毎日） ○進路学習：上級学校調べ
 ○道徳：集団生活の向上・地域学習 ○総合：校外学習事前・事後学習